

2021年3月期 連結業績見通し

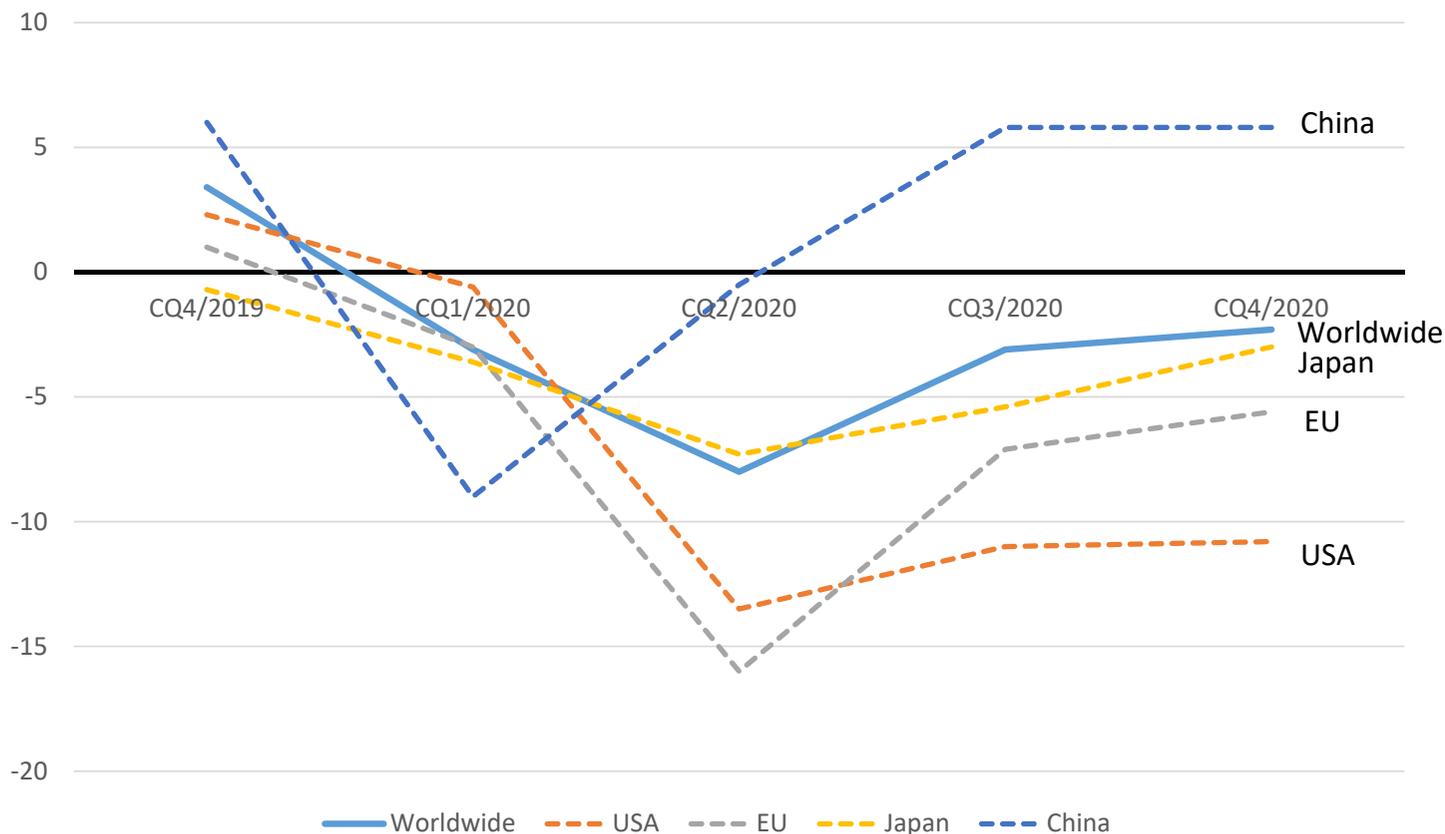
代表取締役社長
石黒 成直

Quarterly World GDP Growth

Attracting Tomorrow



YoY%	CQ4/2019	CQ1/2020	CQ2/2020	CQ3/2020	CQ4/2020	CY2020
Worldwide	+3.4	-3.1	-8.0	-3.1	-2.3	-4.0



(Source: Nomura Global Market Research)

2021年3月期の市場予測

Production Trend (Unit: Mil. unit)	FY2020	FY2021 (Y o Y)
Automobile*	87	75 (-14%)
<i>therein</i> xEV	4.4	4.9 (+11%)
Smartphone	1,365	1,240 (-9%)
<i>therein</i> 5G Smartphone	43	376 (x 9)
HDD	309	265 (-14%)
<i>therein</i> Nearline	56	62 (+10%)
Notebook PC	162	163 (+1%)
Tablet	122	127 (+5%)

*Automobileは商用車を含む台数

2021年3月期 通期連結売上高増減イメージ

(億円)

セグメント 区分	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期予想 (対前年比)
受動部品	3,955	△7～△10%
センサ応用製品	779	+8～+11%
磁気応用製品	2,197	△15～△18%
エネルギー応用製品	5,977	±0%
その他	723	—
合計	13,630	12,900

為替前提

為替レート \$/Yen

108.82

105.00

為替レート EURO/Yen

120.92

117.00

2021年3月期 連結業績及び配当金見通し

(億円)		2020年3月期 通期実績	2021年3月期 業績予想 (2020年5月発表)	業績予想対前期比	
				増減	増減率(%)
売上高		13,630	12,900	△ 730	△ 5.4
営業利益		979	700	△ 279	△ 28.5
営業利益率		7.2%	5.4%	-1.8 pt	-
税引前利益		959	700	△ 259	△ 27.0
当期純利益		578	480	△ 98	△ 17.0
1株当たり利益(円)		457.47	379.99	-	-
配当金		上期：90円 下期：90円 年間：180円	上期：80円 下期：80円 年間：160円	-	-
為替	対ドルレート	108.82	105.00	-	-
	対ユーロレート	120.92	117.00	-	-
固定資産の取得 (設備投資)		1,734	1,800	66	3.8
減価償却費		1,250	1,400	150	12.0
研究開発費		1,175	1,200	25	2.1

2021年3月期 財務基盤の強化に向けて

中期財務戦略（2018年公表）

- 事業収益構造転換に向け実行した成長投資の確実な回収
- バランスのとれた資本配分に基づき、更なる成長投資を実行

バランスのとれた資本配分

- 成長投資
- 株主還元
- 有利子負債返済

フリーキャッシュフロー マイナス

フリーキャッシュフロー プラス

中期最終年度2021年3月期財務目標（2018年公表）

資本効率

- ・営業利益率 10%以上
- ・ROE 14%以上

株主還元

- ・一株当たり利益成長を通じ
配当の安定的な増加
- ・配当性向30%目途

財務の健全性

- ・株主資本比率50%以上
- ・ネットキャッシュ

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり財務体質改善は遅延
- 2021年3月期においてはフリーキャッシュフロープラスを維持しつつ将来成長に備える
 - 将来の収益拡大を期待できる成長投資を優先的に実施
 - 資金調達力を確保し財務基盤を強化
 - 株主還元は中期期間累計での配当性向30%を目途として実施

Internal

(自分がどう変わるか)

エネルギーEco企業になる

- 生産性の改善
- 徹底した省エネルギー施策推進
- 再生可能エネルギーへの転換

External

(社会をどう変えるか)

社会の省エネルギーに貢献する

- 高効率な電源装置と電源部品
- ノイズ・熱への対応製品
- センサの高度活用

低炭素社会実現への貢献

- EV関連製品
- 再生可能エネルギー発電装置（風力など）
- 家庭用蓄電装置
- 小型二次電池の活用

Internal

(自分がどう変わるか)

TDKをデジタル化する

- 生産活動のデジタル化 (Industry4.0推進)
- デジタルマーケティング
- デジタルコミュニケーションプラットフォーム統合

External

(社会をどう変えるか)

センシング・アクチュエーションでアナ⇔デジ変換

- 各種センサIC
- 各種アクチュエータ

通信ネットワークと小型化・利便性向上

- 5G対応高周波部品
- 小型・低背電子部品
- 先端の実装技術
- 省電力化

労働力不足への対応

- 自動化・ロボティクス部品
- ヘルスケア・ライフケア用途開拓

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競争条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

また、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載いたします。
https://www.jp.tdk.com/corp/ja/ir/ir_events/conference/2020/4q_1.htm